



2010春 医師・看護師・介護職員を増やせ！！

ナースウエーブ

広島県医労連：〒732-0827 広島市稲荷町 5-5 松田ビル 201号 / fax 082-262-1586 2010.5/10. No.1

★5/16ナースウエーブ行動！ナントしても成功させよう！

【参加目標】150人以上

- | | |
|----------|-------------|
| 全医労 20人 | ・全日赤 20人 |
| 全日赤庄原 3人 | ・全労災 5人 |
| 国共病組 5人 | ・広厚労 5人 |
| 公共労 5人 | ・広島市民病院 50人 |
| 広島医療 30人 | ・中央保健 20人 |
| 広大震 5人 | ・福山医療 3人 |
| 備後の里 2人 | ・その他 10人 |

ナースウエーブまで後6日となりました。
今日現在の参加状況は、42人です・・・・・・。
ここにきて、「ナースウエーブって何!?!」って声が聞こえましたのでお知らせします。

ナースウエーブまで、あと

6日

ナースウエーブの歴史

戦後より、それまで個別で結成されていた労働組合は、1957年8月31日「日本医療労働組合連絡協議会（日本医労協）」を結成し、医療労働者のナショナルセンターとして

活動を開始しました。当時の組織人員は3万850人。

当時多くの看護師が無権利状態に置かれていました。看護師が中心となって1959年、結婚や通勤の自由を求める

「人間宣言」から始まって、1960年「無い賃ガール」は嫌だと全国に「病院スト」。そして夜勤制限を求め「2・8(ニッパチ)闘争」が

全国で展開されました。それからおよそ30年を経た1989年、日本医労連の定期大会で「医療労働者の5割を占める看護師の状態は、医療労働者全体の労働条件に結びつく問題である」と『看護婦闘争』の方針が提案されました。この闘いは3年後の1992年、看護師の夜勤は月8回を明記した「看護師確保法」の制定という歴史的な成果を勝ち取りました。この取り組みを「桜前線にあわせて、南から看護師の行動を起こしていこう」と全国にうねりが広がったことから「ナースウエーブ」と呼ばれるようになりました。

広島県医労連では、1989年12月2日に400名で県庁包囲デモ。1990年5月19日の第1回「ナースウエーブ」では500名が風船を手に原爆ドーム前集まり、本通りをデモ行進しました。そして2006年深刻な医師看護師不足を『10年ぶりの白衣のパレード』でアピールし、2007年は、国会議員を宣伝カーに登壇させる「医労連始まって以来の行動」となりました。昨年は「村上優子さんの過労死事件」学習会と宣伝行動に取り組み。今年は「夜勤についての学習会」と宣伝行動で、全国の仲間と一緒に大きなウエーブを巻き起こします。

↓2006年のナースウエーブ「10年ぶりのパレード」

↓2007年のナースウエーブ「ハートの風船」が目を引きました

↓2008年のナースウエーブ



■ 5月16日(日)看護の心を白衣に、街へ！

日時：5月16日(日) 13:30-16:30頃

内容

- 13:30～ アステールプラザ大会議室 (広島市中区)

記念講演「輝いてますか？あなたの看護。」

長時間労働・夜勤に、サヨナラを！

講師:大村淑美さん(看護師・日本医労連顧問)

- 15:30～16:30頃

元安橋から本通にかけ路上で署名宣伝



昨年 2009 年のナースウエーブ！
学習会と宣伝行動を成功させました。



今日10日 11:20 現在の参加者は、42名です。後5倍くらいの声かけをお願いします！